

1. 16:1【ミクタム。ダビデの詩。】

「ミクタム」は不明。ルターは「ダビデの黄金の宝」Ein güldenes Kleinod Davids と訳。
「罪のつぐない」と解する人もいる。

2. 「神よ、守ってください／あなたを避けどころとする
わたしを。」呼びかけと祈願

危険にさらされても、神はわたしの守り、避難所。

3. 16:2「主に申します。『あなたはわたしの主。あなたの
ほかにわたしの幸いはありません。』」信仰告白4. 16:3「この地の聖なる人々／わたしの愛する尊い人々
に申します。

4『ほかの神の後を追う者には苦しみ加わる。わたし
は血を注ぐ彼らの祭りを行わず／彼らの神の名を唇に
上らせません。』

2 節で神に向かって語りかけたこの人は、同じ精神を
もって人に語りかける。

5. 5-6 信仰告白であるとともに、信仰をもって受けとめた事実を語る。6. 16:7「わたしは主をたたえます。主はわたしの思いを励まし／わたしの心を夜ごと諭してく
ださいます。」賛美

神と対面し、神と交わるとき、ただ自分から神に祈り願うだけではなく、神の諭しを受け、
神によって教え育まれる。

7. 16:8「わたしは絶えず主に ^{あい}相対しています。主は右にいまし／わたしは揺らぐことがありま
せん。」

この世界のさまざまな事柄に取り囲まれ、関わりながらも、神に向かい、神と相対して生き
ている。このゆえに、確固とさせられる。



16:9「わたしの心は喜び、魂は躍ります。からだは安心して憩います。」

ただ支えられ、落ち着いているだけではなく、神との交わりから歓喜と平安が与えられる。
神への集中。神から命と喜びが来る。

8. 16:10「あなたはわたしの魂を陰府に渡すことなく／あなたの慈しみに生きる者に墓穴を見させず 11 命の道を教えてください。わたしは御顔を仰いで満ち足り、喜び祝い／右の御手から永遠の喜びをいただきます。」

希望・信頼

神の御顔、御手が歌われ、信仰の喜びと信頼は頂点に達する。

喜びと平安は地上の生涯だけで終わるのではなく、わたしは死の滅びと恐れから守られ、復活と永遠の命にあずかる。

これは使徒言行録 2:25-28 のペテロの説教の中に、イエスの祈りとして引用されている。

9. この詩編の中にイエス・キリストの祈りがある。

この詩編の祈りにわたし自身を重ねてみる。

まだ経験していないとしても、わたしたちにも開かれている信仰の平安と喜びがある。